

e-株主リサーチ 個人投資家モニターアンケート

**ESGへの取り組みが企業の魅力高めると考える個人投資家が過半数。
コロナ禍によって進んだバーチャル株主総会に対しても肯定的。**

IRコミュニケーション支援の株式会社 a2media (<https://www.a2media.co.jp/>) は、個人投資家と上場企業を繋ぐコミュニケーションツールであるe-株主リサーチを使い、2021年1月15日～1月25日にかけて、企業IRに関して意識調査を実施しました。

アンケートの概要、結果ダイジェストは以下の通りです。

■ ESGの認知度は引き続き上昇し、過半数に達した。認知度の高まりにより、ESGへの取り組みが投資先としての企業の価値高めると理解されている。

ESGについて、e-株主リサーチモニターにおける認知度は「言葉もどういう内容のものかもよく知っている。」「言葉はよく聞き、内容もある程度知っている。」の回答を合わせて54.0%、昨年調査に比べて7.5ポイントの上昇となり過半数となった。比較的株式投資歴の長い個人投資家が登録しているe-株主モニターにおいて、ESGという概念の浸透度は着実に高まっている。(PDF 2枚目にグラフ)

企業がESGを考慮した取り組みを行うことが、投資先としてのその企業の魅力高めるとか尋ねたところ、「大いに高まる」「少し高まる」とする回答が合わせて62.7%となり、多数派となった。言葉や概念の浸透が進んだことにより、ESGが投資先企業の魅力につながるという理解につながっており、個人株主・個人投資家向けIRにおいてもESGへの具体的な取り組みを伝える段階になっていると考えられる。(PDF 3枚目にグラフ)

■ 昨年「バーチャル株主総会」に参加したと回答した人は18%。そのうちの約4分の3が「インターネットをつうじて、自宅にいながら株主総会に参加できるのでよい。」と答える。

昨年、一部の企業で導入された「バーチャル株主総会」への参加について尋ねたところ「従来型の会場開催の株主総会と「バーチャル株主総会」の両方に参加した。」「「バーチャル株主総会」だけに参加した。」の回答を合わせて18.0%となった。e-株主リサーチモニターはネットリテラシーが高いとともに、従来より株主総会への参加意向が高い傾向にあるが、昨年は「バーチャル株主総会」を実施した企業が限られたことから、「バーチャル株主総会」へ参加した人も一部に限られたと考察される。(PDF 4枚目にグラフ)

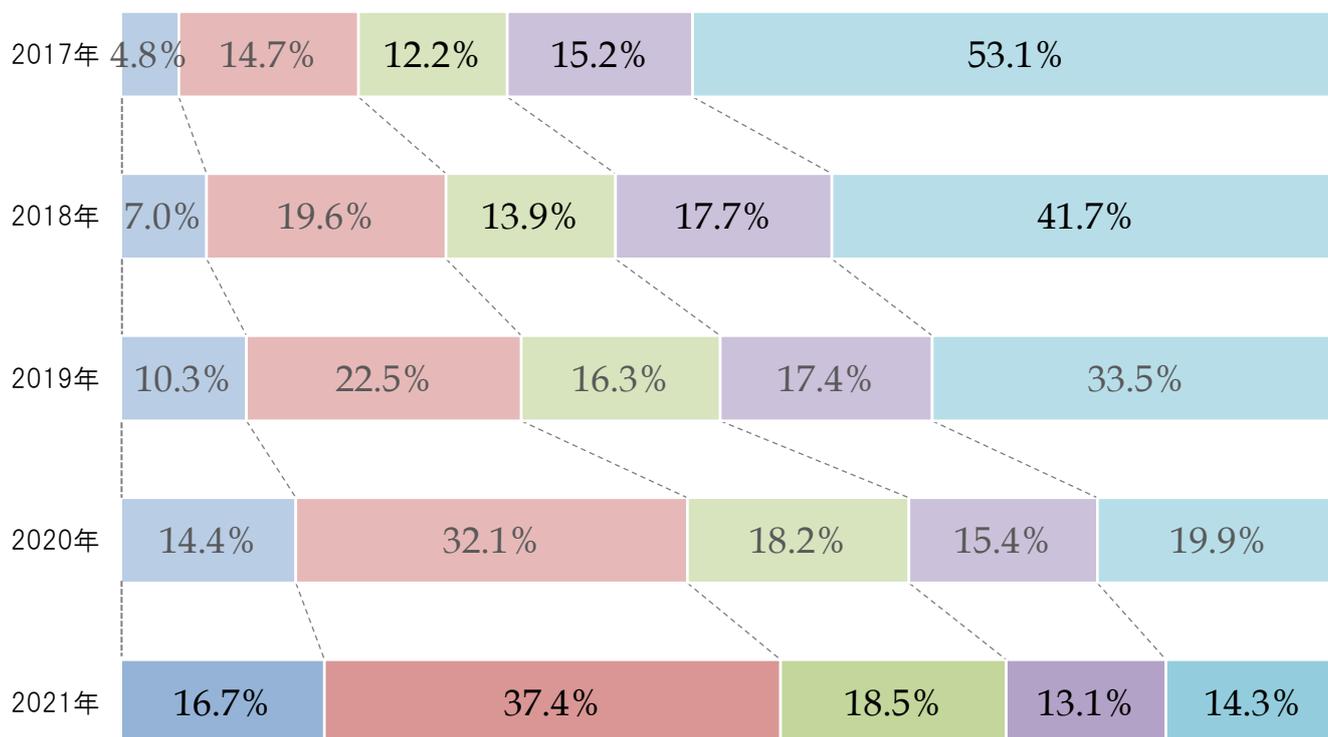
「バーチャル株主総会」に参加した感想を選択肢を設けて尋ねたところ、ポジティブな選択肢を選ぶ傾向にあった。特に、参加した人のうちの74.3%が「インターネットをつうじて、自宅にいながら株主総会に参加できるのでよい。」の選択肢を選んでいることから、今後の運営方法の改善と相俟って、バーチャル株主総会は個人投資家に肯定的に受け入れられていくものと思われる。(PDF 5枚目にグラフ)

■ コロナ禍により、オンラインで実施される会社説明会やIR展示会を視聴する機会が増加。

新型コロナウイルス(COVID-19)感染症拡大前と比べて、オンラインで実施される会社説明会やIR展示会を視聴する機会は増えたか尋ねたところ、「機会が増えた」と答えた人が34.2%、「機会が減った」と答えた人が7.9%と、全体としては増加という結果となった。コロナ禍によって、個人投資家のインターネットでのIR情報の収集が促進されたと判断される。(PDF 6枚目にグラフ)

「ESG」という言葉と内容を知っていますか。選択肢からもっとも近いものを1つお選びください。

- 言葉もどういう内容のものかもよく知っている。
- 言葉はよく聞き、内容もある程度知っている。
- 言葉はよく聞かすが、内容はあまり知らない。
- 言葉は聞いたことがあるが、ぴんと来ない。
- 言葉をはじめて聞いた。

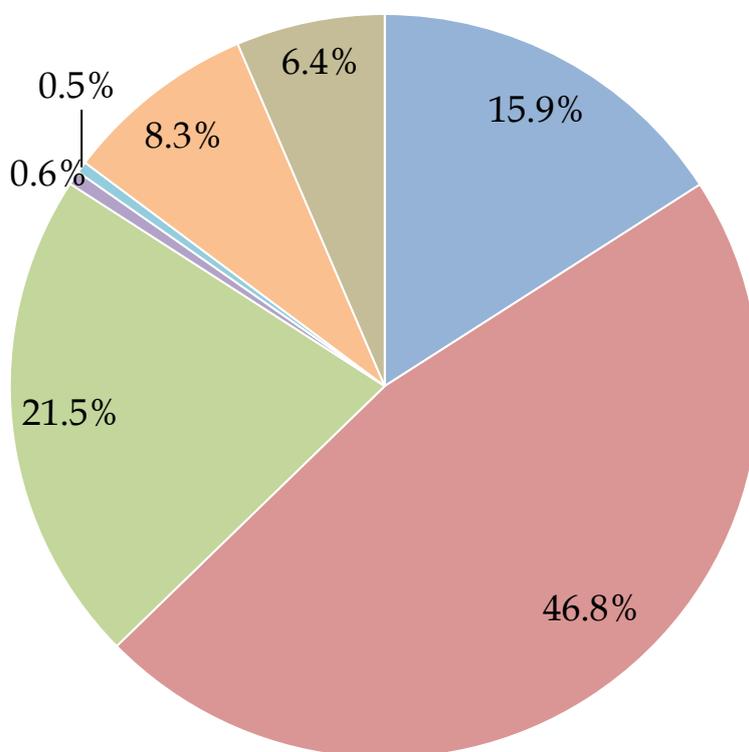


2017年の調査から継続して尋ねている項目。「言葉もどういう内容のものかもよく知っている。」「言葉はよく聞き、内容もある程度知っている。」とあわせて54.0%、昨年調査より7.5ポイント増となり過半数に達した。

個人投資家に対するESGという言葉や概念は浸透し、常識的な言葉となってきている。

企業がESGを考慮した取り組みを行うことは、あなたにとって投資先としてのその企業の魅力が高まることにつながりますか。

- 大いに高まる
- 少し高まる
- 変わらない
- 少し低くなる
- 大いに低くなる
- わからない（ESGへの取り組みが投資先としての企業の魅力につながるかどうか判断できない）
- 関係しない（ESGへの取り組みを投資判断と結びつけて考えない）



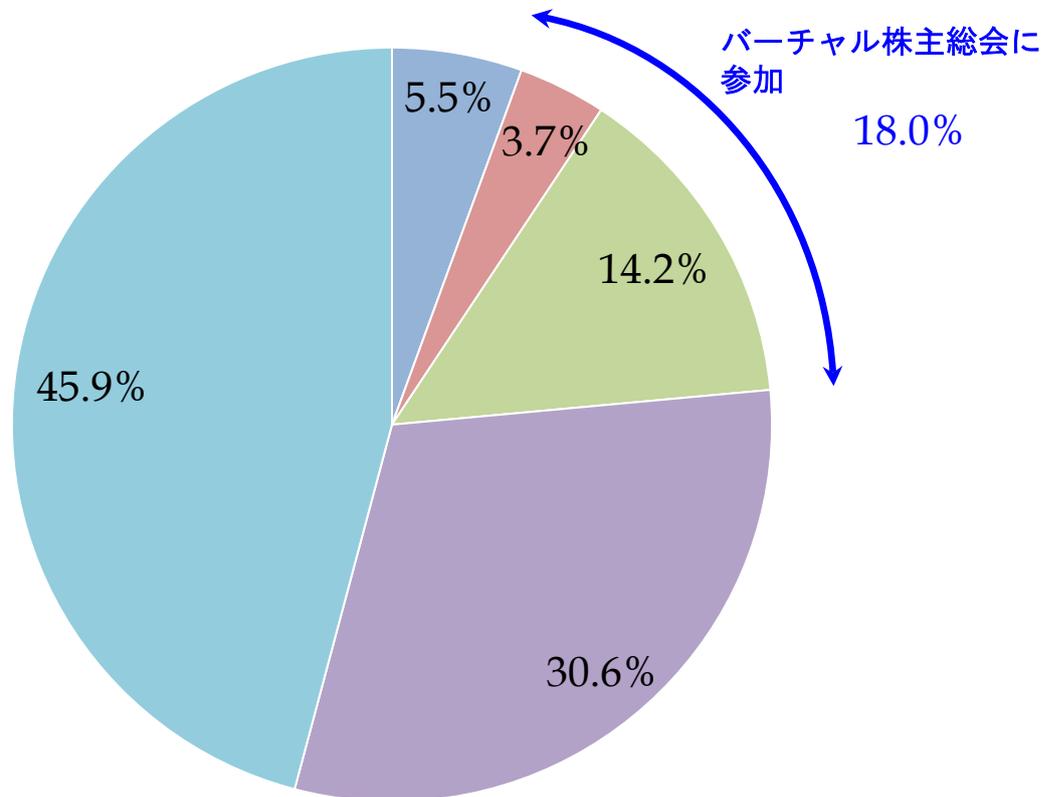
ESGという言葉や概念の浸透が進んだことにより、ESGを考慮した取り組みにより投資先としての企業の魅力が「大いに高まる」「少し高まる」とする回答が合わせて62.7%となり、多数派となっている。

前ページの結果と合わせ、個人株主・個人投資家向けIRにおいてもESGへの具体的な取り組みを伝える段階になっている。

新型コロナウイルス（COVID-19）感染症への対応として、総会会場の議事進行をインターネットを通じて同時に動画配信する「バーチャル株主総会」を実施する会社がありました。

2020年4月以降に開催された株主総会について、あなたはどのような対応をとりましたか。選択肢から最も近いものをお選びください。

- 従来型の会場開催の株主総会だけに出席した。
- 従来型の会場開催の株主総会と「バーチャル株主総会」の両方に参加した。
- 「バーチャル株主総会」だけに参加した。
- 昨年は「新型コロナウイルス（COVID-19）感染症」の影響を考え、従来型の会場開催の株主総会にも「バーチャル株主総会」にも参加しなかった。
- 例年も株主総会には出席しないので、昨年も株主総会には出席・参加しなかった。

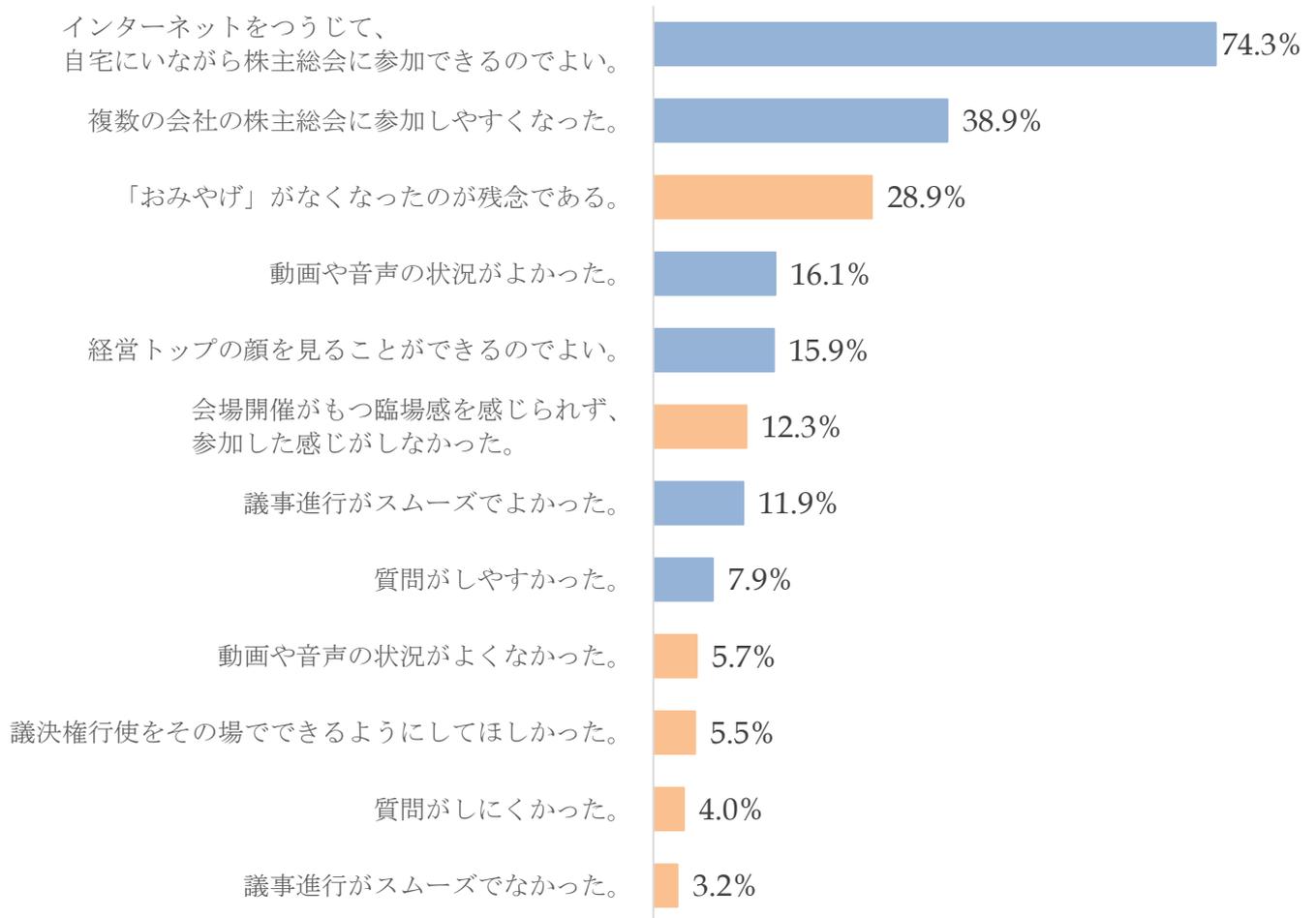


e-株主モニターは、インターネットを通じて登録したネットリテラシーの高い層であり、また、従来より株主総会への出席に前向きな傾向にある。

バーチャル株主総会に参加したという回答は18.0%にとどまった。昨年、6月に株主総会を実施した2,344社のうちバーチャル株主総会（ハイブリッド型）を実施した企業が122社だったことが数字に反映していると考えられる。2021年はバーチャル株主総会の実施社数の増加と歩調を合わせる形で、ネットリテラシーの高い個人株主の参加も増えると考えられる。

「バーチャル株主総会」に参加した感想について、あてはまるものをお選びください。

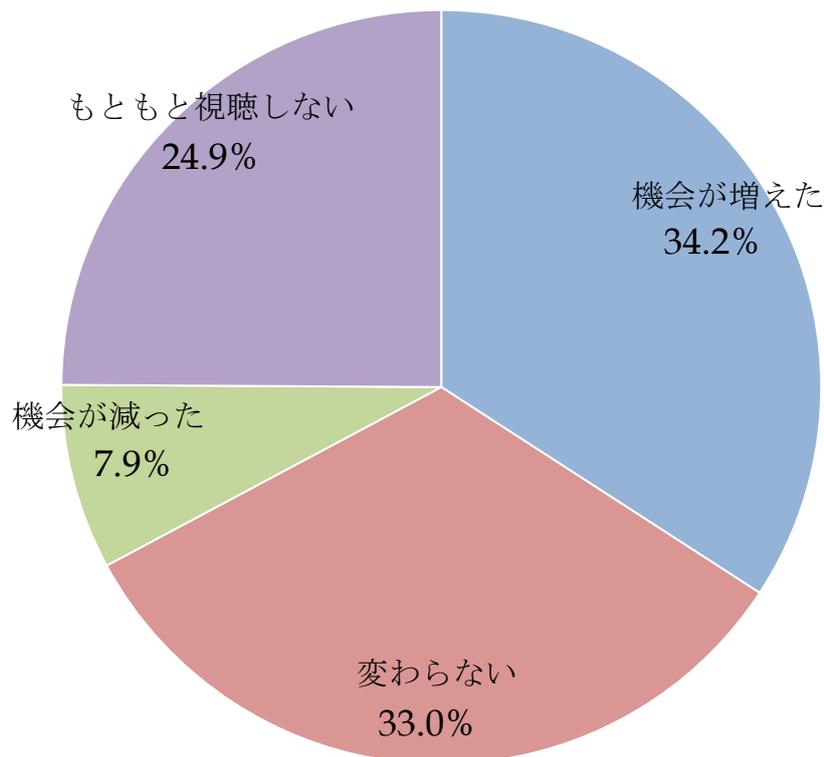
■ ポジティブな選択肢 ■ ネガティブな選択肢



※集計は、バーチャル株主総会に参加したと回答した人のみを対象。

ポジティブな選択肢とネガティブな選択肢を同数配して尋ねてみたところ、ポジティブな選択肢の選択が多くなった。インターネット活用の長所である「インターネットをつうじて、自宅にいながら株主総会に参加できるのでよい。」が74.3%、「複数の会社の株主総会に参加しやすくなった。」が38.9%と高率となっており、今後の運営方法の改善と相俟って、バーチャル株主総会は個人投資家に肯定的に受け入れられていくものと思われる。

会社説明会やI R展示会について、新型コロナウイルス（COVID-19）感染症の感染防止のため会場開催が取り止められ、インターネットを使ったオンライン開催が増えています。新型コロナウイルス（COVID-19）感染症拡大前と比べて、オンラインで実施される会社説明会やI R展示会を視聴する機会は増えましたか。



コロナ禍によるリアルイベントの中止および在宅時間の増加により、オンラインで実施される会社説明会やI R展示会にI R情報を求める比重が高まっている。コロナ禍によって、個人投資家のインターネットでのI R情報の収集が促進されたことがうかがえる。インターネットの長所や利便性を経験し、情報収集力が高まったことを考えると、今後はリアルイベントとインターネットイベントの両方の特質を活かした効果的なI R戦略を考える必要があると思われる。

<調査概要>

調査方法：インターネットを利用したアンケートリサーチ

調査対象者：(株) a2mediaのe-株主リサーチモニター会員

調査期間：2021年1月15日～2021年1月25日

集計回答人数：2,618人

調査項目：

[属性]性別、年齢、職業、居住地域、投資資金、投資目的

[調査項目]株主通信、ESG投資、新型コロナウイルス感染症拡大下における投資行動 ほか

全体	全体				
	2,618				
性別	男性		女性		
	2,160		458		
年齢	30代以下	40代	50代	60代	70代以上
	341	633	695	556	393

<e-株主リサーチモニター属性>

母集団属性 (2021年3月3日現在)

■性別/男性77%、女性23%

■年代/29歳以下1%、30代8%、40代24%、50代27%、60代20%、70歳以上20%

■職業/会社員46%、会社役員5%、公務員・非営利団体職員11%、自営業13%、パート・アルバイト・フリーター3%、専業主婦11%、学生1%、無職・定年退職9%、その他1%

<e-株主リサーチについて>

(株) a2mediaが実施する個人株主・投資家を対象としたインターネット調査を実施しています。

また、登録モニターに対して、オンライン会社説明会を実施しています。

1. e-株主リサーチ

上場会社が主に本決算・第2四半期(中間)決算期に、個人株主向けに配布する株主通信内にてアンケート告知を行い、インターネットサイトに誘導し回答するシステム(携帯電話でも回答可能)です。

IR担当者はリアルタイムで回答状況を把握できるだけでなく、同時期に実施している他社の結果と比較しながら自社結果を閲覧することができます。従来までのはがきを利用した株主向けのアンケートに比べ、劇的なスピードアップとコストダウンを実現します。

2. e-株主リサーチモニターアンケート

e-株主リサーチ回答者に対してモニター会員の登録案内を行い、現在約38,000名(2021年3月3日現在)が登録しております。時事問題やトレンドをテーマに、個人投資家モニターの考え方や意見について定期的に調査を実施中。

個人株主の実態や企業のIR活動への要望などを分析し、個人株主と上場企業のコミュニケーションの円滑化図っていきます。

3. オンライン会社説明会

オンラインで実施する個人投資家向けIR会社説明会です。e-株主リサーチモニターを中心に案内を行いますので、投資経験豊富な個人投資家にアピールすることが可能です。また、会社説明閲覧後にはアンケートを実施しており、個人投資家のホットな声を直接聞くことができます。個人投資家コミュニケーションの場としてご活用いただけるサービスです。

NEWS RELEASE

2021年3月16日
株式会社 a2media



<株式会社 a2mediaについて>

会社概要

会社名：株式会社 a2media
URL：<https://www.a2media.co.jp/>
所在地：東京都中央区銀座6-10-1 GINZA SIX 12F
設立日：2002年8月8日
資本金：6,230万円
代表者：代表取締役社長 榑原 清孝

事業内容：企業 I R 支援、資本市場におけるコーポレート・ブランディング支援。株主通信・アニュアルレポート・統合報告書・J-REITおよび上場インフラファンドの資産運用報告・会社案内作成、株主総会運営支援、展示会出展支援、I R サイト・コーポレートサイト構築、映像メディア制作、個人株主・個人投資家向けアンケートの実施

事業概要：株式会社 a2mediaは、企業の多彩な I R 活動を支援しています。会社毎に持っている企業価値を発見し、あらゆる投資家にわかりやすく発信、それを継続する事で浸透させ、投資家を中心としたステークホルダーへのプレゼンスを改善・向上していきます。



●本リリースに関するお問い合わせ先 メディアプロデュースユニット 大内泰輔
E-MAIL:taisuke.ouchi@a2media.co.jp

●e-株主リサーチに関するお問い合わせ先 e-株主リサーチ事務局 栗山博美
E-MAIL:hiromi.kuriyama@a2media.co.jp